

第 89 回 KaSpI 宇宙セミナー



「せいめい望遠鏡の技術の宇宙活用」

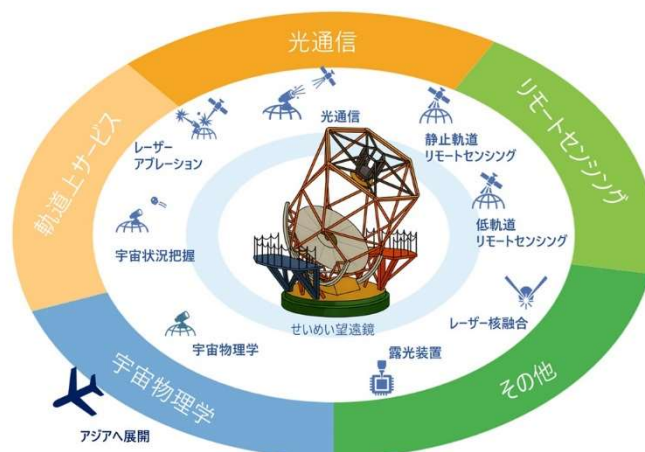
日時：2026 年 1 月 26 日（月）18:30～20:00

場所：大阪公立大学文化交流センター（梅田サテライト）

講師：栗田光樹夫（京都大学大学院理学研究科准教授）

主催：関西宇宙イニシアティブ・大阪公立大学宇宙科学技術研究センター

協賛：日本航空宇宙学会関西支部



せいめい望遠鏡は、東アジア最大となる口径 3.8m を有する大型光学望遠鏡です。主鏡には、世界的にも稀な国内初の分割鏡方式が採用されました。18 枚の分割鏡の位置がリアルタイムで約 50nm の精度で制御されることで、あたかも一枚鏡のような光学性能を維持しています。京都大学では、この主鏡を実現するための高精度な計測・加工技術を独自に開発し、国内最大規模の大型・高精度鏡の製造技術を確立してきました。近年これらの技術はリモートセンシングや光通信など、宇宙関連産業分野への応用可能性も注目されています。本講演では、せいめい望遠鏡の技術と、その産業応用の展望について説明します。

【講師紹介】 栗田 光樹夫（くりた みきお）

京都大学大学院理学研究科宇宙物理学教室 准教授。

2000 年名古屋大学理学部物理学科卒業、2005 年同大学院理学研究科素粒子宇宙物理学専攻修了、博士(理学)。同年 8 月同理学研究科助手。同助教などを経て 2012 年 1 月～現職。名古屋大学では可視光と近赤外線の波長帯における観測装置と技術開発に取り組む。望遠鏡構造に興味を持ち、空間建築を専門とする大森博司先生との交流から遺伝的アルゴリズムによる望遠鏡構造の軽量化に取り組む。軽量化の研究を通して企業や工学部の先生らとの交流機会が増え、その財産はのちの「せいめい望遠鏡」の開発で不可欠なものとなる。京都大学に異動後は、「せいめい望遠鏡」の開発に本格的に関わり、2018 年の完成以降は、関連する技術の深化と社会還元に注力している。

右のQRコード/URLからお申し込みください。参加費は無料です。

NP0 法人関西宇宙イニシアティブ (KaSpI) 事務局

〒599-8531 堺市中区学園町 1-1

大阪公立大学 小型宇宙機システム研究センター内

E-mail: kaspi[at]omu.ac.jp [at]→@



<https://forms.gle/bkNTLjkCkbUJQVZt7>